

アービタックス・FOLFIRI療法を受けられる患者さまへ
(アービタックス・トポテシン・レボホリナート・5-FU)

この治療で使用する内服薬・注射薬についての説明書です。わからないことや困っていることがありましたなら、いつでもご相談ください。また、何か異常を感じた場合は、すぐにご連絡ください。

《お薬の作用》

薬 剤 名	経路	主 な 作 用
アービタックス	注射	ヒト上皮細胞増殖因子受容体（EGFR）を標的とする薬剤です。EGFRに結合することでがん細胞内のシグナル伝達を妨害して、がん細胞の増殖や転移を阻害します。
トポテシン	注射	抗がん剤です。（がん組織を直接攻撃します。）
5-FU	注射	抗がん剤です。（がん組織を直接攻撃します。）
レボホリナート	注射	5-FUの作用を強めるために使用します
デカドロン	注射	アレルギー症状や吐き気を抑えるために使用します。
アロキシ	注射	吐き気を抑えるために使用します。
イメンド	内服	吐き気を抑えるために使用します。
レスタミンコーワ錠	内服	アレルギー症状を抑えるために使用します。

《投与スケジュール》

- ・ アービタックス投与30～60分前に、レスタミンコーワ5錠を内服し、さらに、デカドロン・アロキシ（生理食塩液で溶解）を30分かけて点滴静注します。イメンドはトポテシンを投与する1時間前に服用します。
- ・ アービタックス投与終了後、生理食塩液 100ml を点滴静注します。
- ・ アービタックス投与終了後、1時間位、副作用などの症状がでていないかを観察します。
- ・ アービタックス投与終了1時間後より、FOLFIRI療法を開始します。
- ・ 2週間ごとに繰り返します。

◆ 第1日目 レスタミンコーワ5錠 内服

本 管	側 管
30分 デカドロン・アロキシ点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解) 	
生理食塩液 50ml 点滴静注 	
イメンド1錠服用	2時間 アービタックス点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解) 
	生理食塩液 5ml 点滴静注 
2時間 レボホリナート点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解) 	90分 トポテシン点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解) 
	3分 5-FU静注 
約 46 時間 5-FU 持続注入 (携帯型ポンプにて) (生理食塩液で溶解) 	

◆ 第2日目・3日目

- ・ 午前中に、イメンドを1錠服用します。
- ・ 5-FU は、1日目から3日目にかけて (約 46 時間)、携帯型ポンプにて持続注入します。